



第12回久喜市生涯学習研修大会

「まなびすとフォーラム」報告書

開催日：令和6年6月8日（土）

会場：久喜市鷲宮行政センター生涯学習施設

大会テーマ：「ささえあう地域と学校」



生涯学習研修大会概要

1. 開会式・来賓あいさつ
2. 主催者あいさつ
3. フォーラム内容
4. 討議結果の要約
5. アンケート結果のまとめ
6. 講評とあいさつ
7. 添付資料：グループ討議結果

主催：久喜市生涯学習推進会議・久喜市生涯学習推進部

久喜市教育委員会

1. 開会式・来賓あいさつ



久喜市長
梅田修一様



久喜市議会議長
上條哲弘様



埼玉県議会議員
梅澤佳一様



埼玉県議会議員
石川忠義様



久喜市教育委員会教育長
柿沼光夫様

2. 主催者あいさつ



久喜市生涯学習推進会議議長 兼 推進部委員長

宮内 智

ご参加の皆様、本日は第12回「まなびすとフォーラム」にお集まりいただきありがとうございます。

昨年から、この鷲宮行政センターにて開催させていただき、今回で2度目の集まりとなります。第10回までは市内の久喜北陽高校・鷲宮高校・栗橋北彩高校及び菖蒲文化会館アミーゴにて、200名以上の皆様を迎えて開催してまいりました。

しかし、新型コロナウイルスの影響で3年間お休みしましたが、その間に生涯学習施設が開設され生涯学習の学びの場であるこの場所で実施しようとのことで開催する運びになりました。

昨年は、「あなたにとって久喜のまちづくりとは」とテーマを設定し、90名以上の多くの方にお集まりいただきまして、「住んでみたい」「住んで良かった」「これからも住み続けたい」などを目指した久喜市の姿を皆さんで話し合い討議を実施していただきました。

今回は、「ささえあう地域と学校」をテーマにお話し合いをお願いします。

市内の小・中学校の教職員の方、保護者の方、社会教育委員の方、コミュニティ協議会の方、市内高校の生徒さん、加えて市民大学・高齢者大学生を交えて話し合い、テーマに沿った意見を出していただき、各グループのまとめをお願いします。

少子高齢化が進む中で、地域社会のつながりと学校との関係に課題となる問題があると思います。市内の小・中学校はコミュニティスクール体制として推移しております。そうした中で課題をお互いに話し合い、解決策を見いだせばよいと思いテーマを選定しました。

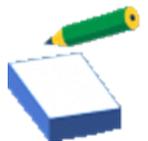
各グループのまとめを討議後発表していただきます。ご参加の皆様は、自分たちのまとめたものと他のグループのまとめた内容をよく聞いていただき、より良い地域と学校の問題解決に活用していただければ、この会を開催した意義が達成されるのではないかと思います。

今回初めて参加された方もいらっしゃると思いますが、今回のテーマ及びフォーラムの実施方法については、後ほど担当者からご説明をさせていただきます。

本日は、皆様の活発な討議を期待しております。どうぞよろしくお願い申し上げ、開会のあいさつとさせていただきます。

3. フォーラム内容

1) 討議風景



2) 討議結果発表風景



4. テーマ【ささえ合う地域と学校】グループ討議の要約

	1	2	3	4	5
1 グループ	学校内の課題	地域	ボランティア	あいさつ	課題
	環境整備	地域イベント参加	ゆうゆうプラザ参加	地域と学校の交流は	世代間交流が少ない
	防犯・見守り	学習支援	運動会参加	あいさつが大事	
	施設活用	実習の手伝い	地域内の交流	情報交換	
2 グループ	学校	地域	地域=学校	あいさつ	課題
	学校が楽しい	学習支援	WIN・WINの関係	交流を深める	特色ある学校、キャリア教育
	安心・安全	専門家の取り組み	父兄の関わり	顔見知りを作る	
	施設活用・見守り	若い力の活躍	犬の散歩中の見守り	笑顔のあいさつ	
3 グループ	学校から地域へ	地域から学校へ	ボランティア	あいさつ	課題
	環境整備	イベント参加	ゆうゆうプラザ参加	交流を深める	地域間の交流が少ない
	防災・安全	小中高の交流	運動会の手伝い	情報交換をして共有	
	見守り	関わりを持つ	花壇の手入れ	する	
4 グループ	学校と地域を繋ぐ	学校から地域へ	ボランティア	あいさつ	課題
	農業体験学習	小中高の交流	ゆうゆうプラザ参加	交流を深める為あい	担い手作り
	環境整備	人材育成	地域体験学習	さつから始める事が	
	見守り	関りを持つ	学習支援	大事	
5 グループ	学校から地域	地域と学校	ボランティア	あいさつ	課題
	学習支援	地域のイベント参加	ゆうゆうプラザ参加	あいさつで交流	PTAと地域の関わりが少ない
	環境整備	一緒にラジオ体操	小中高の交流	情報交換をして一人	
	安心・安全	高校生の方が必要	教職員の手伝い	ひとりが触れ合う	

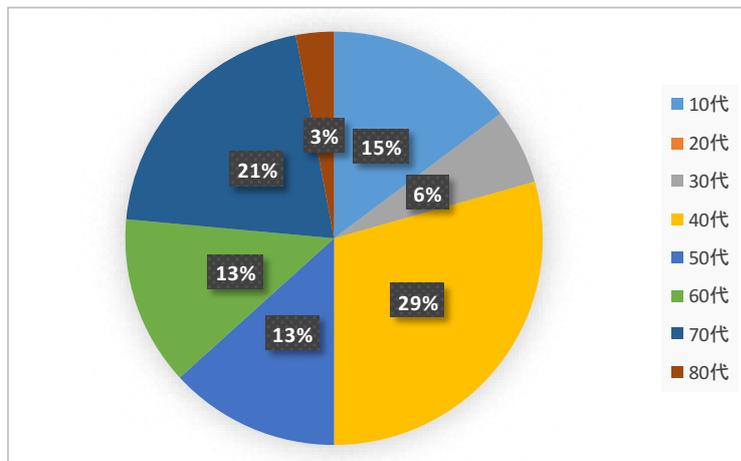
	1	2	3	4	5
6 グ ル ー プ	学 校	地 域	ボランティア	あいさつ	課 題
	行事参加	イベント参加	ゆうゆうプラザ参加	あいさつで交流	子どもがいないと、 学校と接点がない
	環境整備・見守り 安心・安全	草刈り、ゴミ拾いな ど、各自が関わる	昔遊び・読み聞かせ コミュニティ	情報交換をして、関 りを持つ	
7 グ ル ー プ	学 校	地域の関わり方	ボランティア	あいさつ	課 題
	環境整備・見守り	イベント参加	小中高の交流	顔見知りを作る	スポーツ宣言の街の 活用法
	行事参加	ゴミ拾い	子ども食堂手伝い	多くの人を巻き込む	
学校周辺の安全	スポーツ指導	ゆうゆうプラザ参加	顔見知りを作る		
8 グ ル ー プ	学 校	地 域	ボランティア	あいさつ	課 題
	環境整備・見守り	地域の関わり	ゆうゆうプラザ参加	あいさつ運動で地域 と交流する	子どもがいないと、 学校離れになる
	防犯	農業体験	学習支援		
通学路の安全	専門家の取り組み	昔遊び・読み聞かせ	情報交換で連携		

全グループの発表内容と、発表資料を基に、一覧表にしました。

幅広い年齢層と、各分野の方の意見から、全グループとも学校と地域を繋ぐ共通点は、あいさつから始まるとの考えでした。身近な関係を築き、学校業務の緩和協力、地域の関わり方など「安心して協力し支えあう」がこのテーマのキーワードでした。

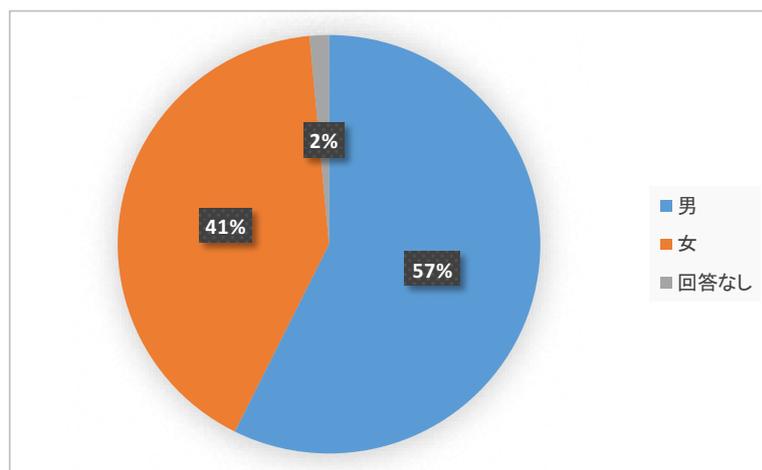
5. アンケート結果のまとめ

(1) 参加者の年代



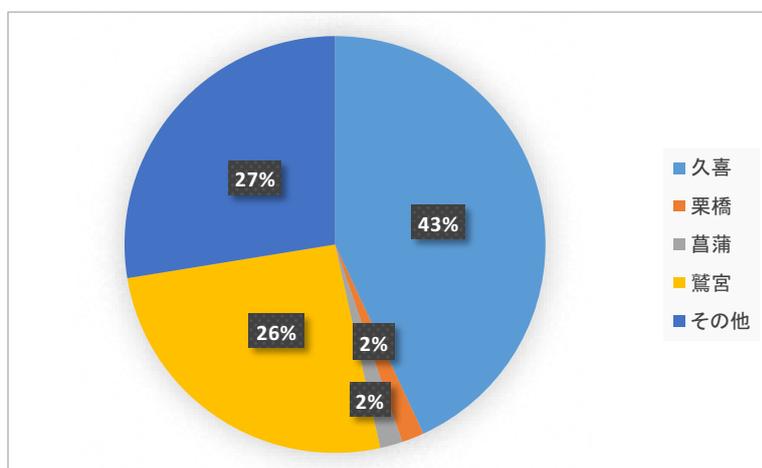
[グラフから]
10代から80代と幅広い年齢層で、意見を交わすことができた。

(2) 参加者の男女割合



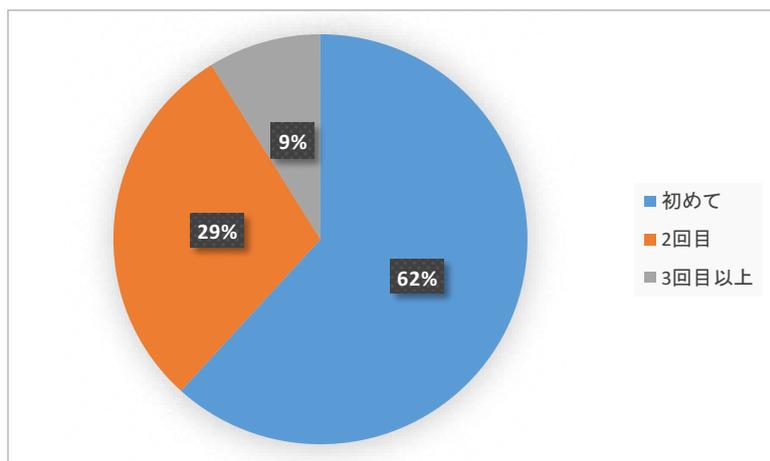
[グラフから]
男女比に極端な差はなく、平等に男女間の意見を交わすことができた。

(3) 参加者の地域割合



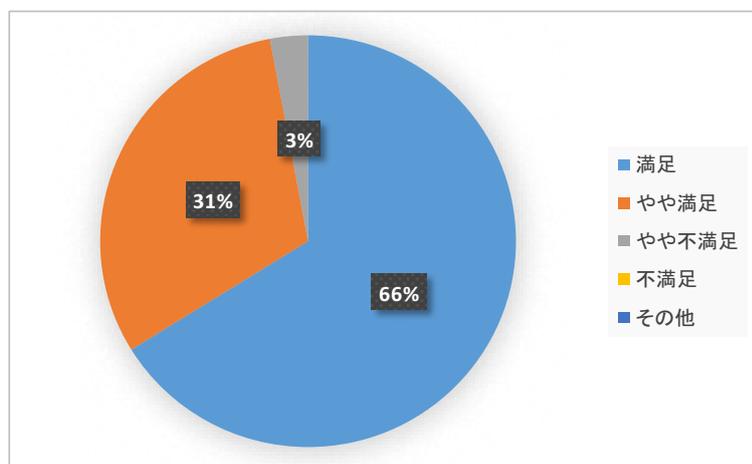
[グラフから]
栗橋・菖蒲地区からの参加人数が少なかった。

(4) 参加回数



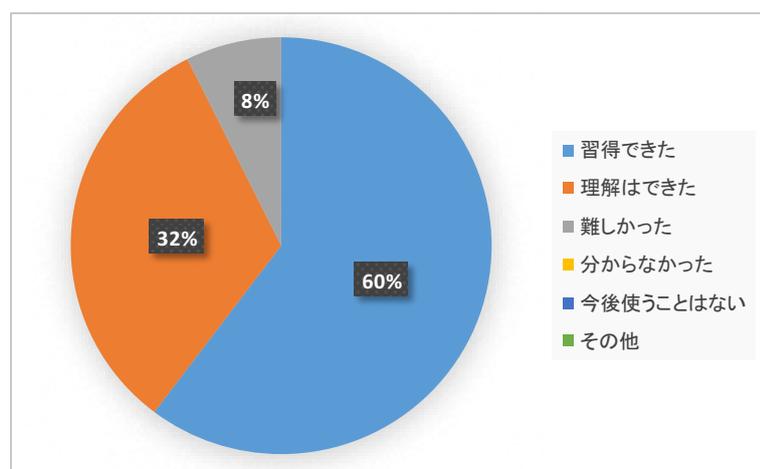
〔グラフから〕
初めて・2回
目で、91%で
ある。

(5) 参加者の満足度



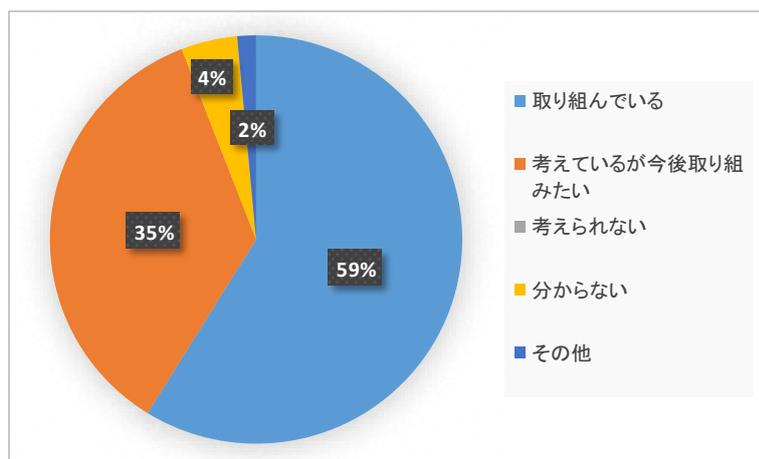
〔グラフから〕
満足・やや満
足で、97%で
ある。

(6) ワークショップ手法習得状況



〔グラフから〕
習得できた・
理解はできた
が、92%であ
る。

(7) 生涯学習に対する意欲



〔グラフから〕
参加している・今後参加
したいが、
94%である。

(8) 記述いただいたご意見

①「生涯学習」に対する課題は見たが、今後はどうしますか。

(70代の方)

②同じグループの方の考え方を聞いてとても勉強になりました。また、各グループの発表も大変参考になりました。自分の視野の狭さを反省することが多く有意義でした。(50代の方)

③「生涯学習」への取り組み方として、様々な話題・課題の本を読み、講演を聞く等があると思います。(50代の方)

④鷺宮高等学校の生徒会長がまとめてくれ、頼もしかったです。

(40代の方)

⑤貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

(10代の方)

6. 講評とあいさつ



久喜市生涯学習推進会議副議長

影山 悦夫

こんにちは。

私は、「講評」などと言うものでなく、感想を申し上げたいと思います。

ところで、皆さんはマラソンの瀬古利彦選手はご存知だろうか。福士加代子選手はいかがですか。最近、陸上関係の選手の話聞く機会に恵まれ、昨日(6月7日)は、「末續慎吾」選手の話聞くことができました。皆さんは「末續慎吾」選手をご存知でしょうか。オリンピックのメダリストです。現在43歳ですが、10秒66の43歳の日本記録を樹立しました。末續選手は『まだ早く走れる』と今なお「現役」を通しており、年齢のほぼ半分の選手たちと一緒にトレーニングしているそうです。20年前に打ち立てた200mの日本記録は今も破られていません。その末續選手も、競技用トラックに出るのが怖くなって走れない時期があったそうです。しかし、ある日ファンの方から、「末續選手の走りを見て勇気と感動をもらいました。」と言うことを聞き、『己の記録を追求するためにのみ走って来たのに、他人(ひと)のためになっているんだ』と気付かれたそうです。

『まなびすとフォーラム』に参加してくださった皆様は、本日のテーマ『ささえあう地域と学校』に第一歩を踏み出していると確信しました。末續選手のように自分の行いが他の人、ここでは地域と学校を支えていることにつながっていることでしょう。自らの力を信じ、活動していただくことをお願いします。

最後に、このような場を提供してくださった生涯学習推進部の皆様、そして生涯学習課の皆様ありがとうございました。

7. 添付資料：グループ討議結果



①グループ発表資料

	目次	ページ
第 1	グループ	1 1
第 2	グループ	1 1
第 3	グループ	1 2
第 4	グループ	1 2
第 5	グループ	1 3
第 6	グループ	1 3
第 7	グループ	1 4
第 8	グループ	1 4



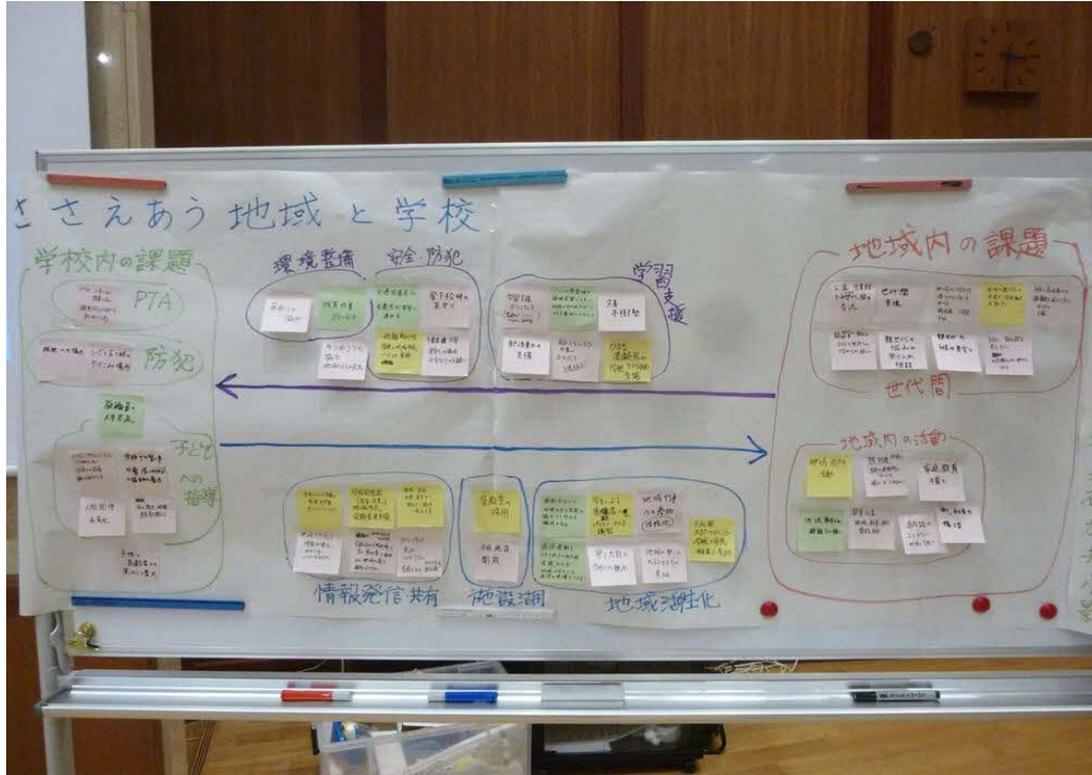
②フォーラム統計資料 1 5

討議は、10～80 歳代の幅広い年代で 10 名前後のグループ構成で行いました。

それぞれの異なる考えや意識を世代間で交えて活発な意見交換が行われました！！

第1グループ発表資料

〈ささえあう地域と学校〉



第2グループ発表資料

〈ささえ合う地域と学校〉



第5グループ発表資料

〈ささえあう地域と学校〉



第6グループ発表資料

〈ささえあう地域と学校〉



第7グループ発表資料

〈ささえあう地域と学校〉



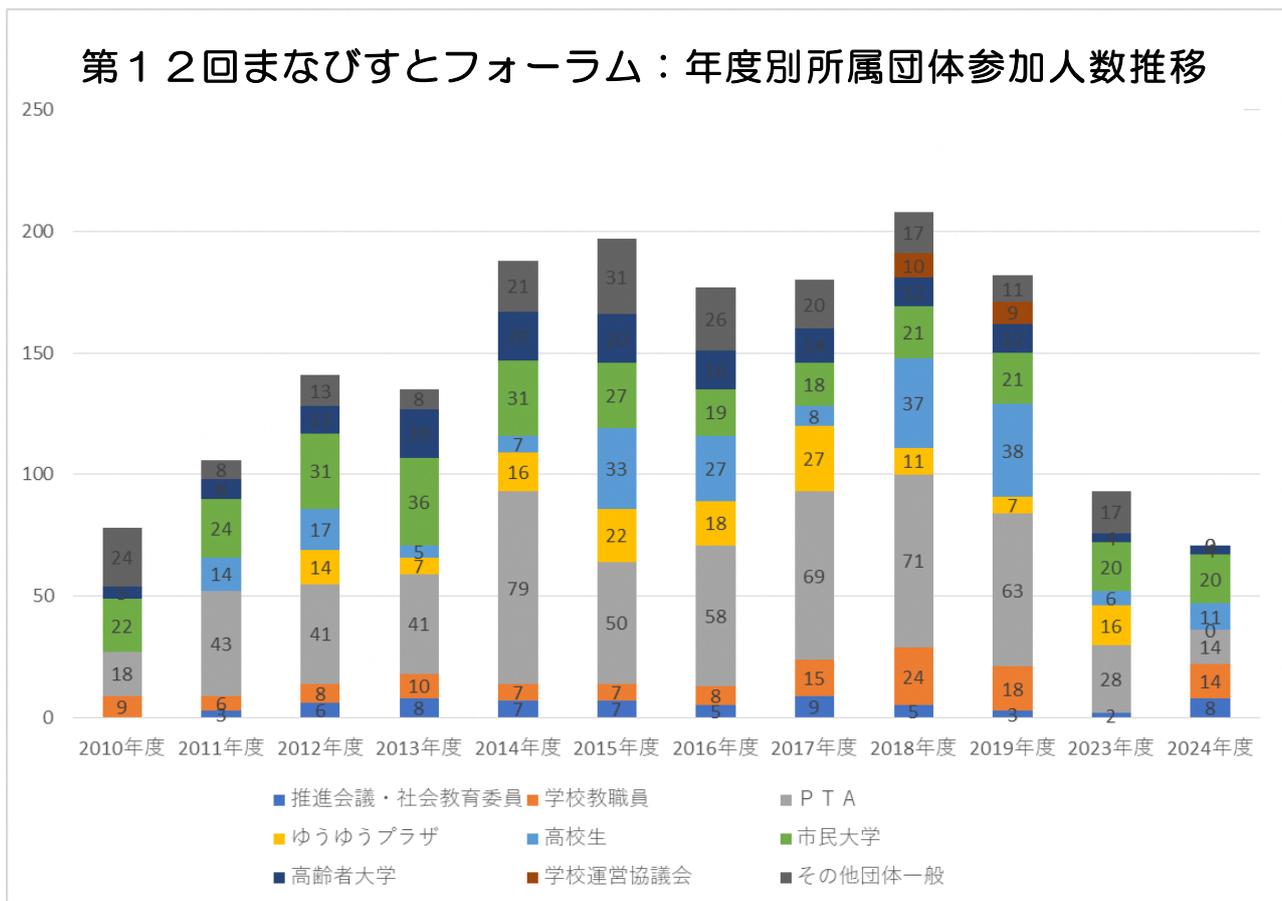
※原紙が縦版表記のため、写真の縦横比を変えてあります

第8グループ発表資料

〈ささえあう地域と学校〉



②フォーラム統計資料





編集後記

第12回「まなびすとフォーラム」にご参加いただき、また、ワークショップにおいて貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

今回の「まなびすとフォーラム」では、前回までの「せっかく意見を出しても、受け取る側が明瞭でなく、空論のフォーラムにしてほしくない」との要望を受け、討議の貴重なご意見は、行政へ発信して行く所存です。

近年の地域社会の変化とともに、久喜市の更なる生涯学習向上のためになればと、この「まなびすとフォーラム」の在り方を試行錯誤してまいりました。より良い大会テーマで、また、皆様と同じテーブルを囲みたいと存じます。

生涯学習推進部委員、生涯学習課の方々のご協力により、第12回の報告書が完成いたしました。
次世代に引き継ぐために、資料、スキルを活かしつつ、新たな発見に期待を感じております。

本報告書は、皆様に討議結果をそのままお届けし、将来に向けて考えていただく材料を、正しくご提供することが大切だと考えて作成いたしました。

最後になりますが、当日ご参加くださった皆様に、改めてお礼を申し上げます。

第12回まなびすとフォーラム（学社連携部会：井上 日出子）